

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

2024年の世界遺産登録を目指して! 「^さ佐渡島^どの金山」

未来につなげよう～「佐渡島の金山」の歴史と文化～



親子で体験! 自然の川での砂金採り

Vol.27
2024.3.31

Sado Gold and Silver Mine Newsletter **第27号** INDEX

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 2.....▶イコモス現地調査と
今後のスケジュール | 6...▶小木町重要伝統的建造物群保存地区の取組み |
| 3・4・5...▶PR活動の記録(海外・県内外・市内) | 7...▶「金の道」事業特集 |
| | 8...▶佐渡市世界遺産推進基金ほか |

イコモス現地調査と今後のスケジュール

2023・2024年は「^{さど}佐渡島の金山」の世界文化遺産への登録に向け、大きな節目となる年です。2023年1月19日(木)に、日本政府がユネスコに提出した「佐渡島の金山」の推薦書は、諮問機関であるイコモスに送付され、学術的な観点から審査が行われています。その一つが、2023年8月24日(木)～30日(水)に行われたイコモスの調査員による現地調査です。現地調査に向けて、国県市で入念な準備を行い、調査員に推薦した資産の保全状況について、丁寧に説明を行ったことで、状況をしっかりお伝えできたものと考えています。

イコモスによる審査結果は、遅くとも2024年6月初めには勧告される予定です。その結果を踏まえ、7月21日(日)～31日(水)にインドで開催されるユネスコ世界遺産委員会で登録の審議が行われます。

登録の審議まで残された時間は多くありませんが、引き続きイコモス審査や世界遺産委員会への対応、遺産がもつ文化的価値の国際的な理解促進に向けて全力で取り組んでまいります。



佐州金銀山



年中行事図 (上: 9月・下: 10月)

登録に向けたスケジュール

2023年1月19日 正式な推薦書をユネスコに提出



2023年3月～ ユネスコの諮問機関イコモスが、専門的見地から書類審査と現地調査 (8月24日～30日) を実施



遅くとも2024年6月初めまで イコモスが審査結果を勧告 (予定)



2024年7月21日～31日 イコモスの審査結果を踏まえ、ユネスコ世界遺産委員会 (インド) で登録を審議



世界遺産登録を目指す「佐渡島の金山」について、
 価値や魅力を多くの方にも知ってもらおうべく、PR活動に取り組んでいます。

1 海外に向けたPR 「佐渡島の金山」の国際的理解に向けた取り組み

【駐日外交団による地方視察ツアー】

2023年10月12日(木)～13日(金)、外務省・新潟県・佐渡市は、駐日外交団を対象とした佐渡市への視察ツアーを実施し、10か国13名の各国大使など関係者が参加しました。「黄金色に輝く歴史・文化の島『佐渡島』へ(Visit Sado Island, an island of golden history and culture)」をテーマとして、世界遺産登録を目指す「佐渡島の金山」の文化的価値や歴史を体験できる施設を視察するとともに、日本政府が「伝統的酒造り」の無形文化遺産登録も目指していることを踏まえ、佐渡島の酒造りのほか、食、伝統芸能、自然などの多様な魅力を駐日外交団に紹介しました。



佐渡奉行所内で磨挽(うすびき)体験をする大使等

プログラム 訪問先

- ★10月12日(1日目) LOCAVOR-STYLE味彩▶佐渡西三川ゴールドパーク▶学校蔵(尾畑酒造株式会社)▶Ryokan 浦島(レセプション)
- ★10月13日(2日目) 佐渡金銀山ガイダンス施設きらりうむ佐渡▶史跡佐渡金山▶史跡佐渡奉行所跡▶大膳神社能舞台▶トキの森公園

【地方の魅力を世界に発信するプロジェクト 外務大臣及び新潟県知事共催レセプション】



佐渡伝統芸能集団「越佐」による鬼太鼓の披露

2024年1月23日(火)、外務省飯倉公館において、地方の魅力を世界に発信するプロジェクトとして、外務大臣及び新潟県知事共催による「世界遺産を目指す『佐渡島の金山』など、新潟県の多様な魅力を発信するレセプション」を実施し、駐日外交団、駐日外国商工会議所、企業関係者、新潟県関係国会議員など約170名が参加しました。

レセプションの開会に先立ち、同会場で県・市主催の「佐渡島の金山」と文化に関するセミナーを開催し、花角県知事、渡辺市長、池田哲夫新潟大学名誉教授が登壇し、多くの駐日外交団に聴講いただきました。

【パリでの世界遺産委員国大使向けセミナー】

花角県知事と渡辺市長は、2023年11月30日(木)～12月2日(土)にフランスのパリを訪問し、ユネスコ日本政府代表部大使公邸で開催されたセミナーに登壇しました。世界遺産登録についての審査をする世界遺産委員会委員国の大使等に「佐渡島の金山」の文化的な価値を説明するとともに、登録に向けた地元の熱意を伝えてきました。



セミナーでプレゼンする花角知事

【旅サラダ EXPO】

2023年11月3日（金・祝）～5日（日）にJR大阪駅前にあるグランフロント大阪うめきた広場において、ABCテレビ「朝だ！生です旅サラダ」が実施した「旅サラダ EXPO」に新潟県としてブース出展しました。

新潟県及び佐渡市のゆるキャラ（レルヒさん、サドッキー）とニイガタ姉さんによるグリーティングや新潟清酒などの物産販売に合わせ、「佐渡島の金山」のPRとして金塊つかみ体験を実施しました。テレビでの生中継もありブースには多くのお客さまが来場し、「佐渡に先日行って本物の金塊つかみ体験をしてきた。」など声をかけていただきました。

旅サラダEXPO新潟県ブースの
レルヒさんとニイガタ姉さん



【新潟フェア】

「佐渡島の金山」が持つ文化的価値や魅力を多くの方に知っていただくため、県内を始め、埼玉、愛知県のイオンモールにおいて行われた「新潟フェア」内においてPRブースを出展しました（7月新潟南、12月レイクタウン、熱田、新潟南）。

各会場では、「佐渡島の金山」を紹介するムービーや資料展示のほか、金塊つかみ体験等を実施し、ご家族連れをはじめとする多くの方にお越しいただきました。

7月の新潟会場では佐渡伝統芸能集団「越佐」による鬼太鼓の演舞が行われ、会場吹き抜けの上の階からお客さまが見下ろすほどの人気で、演舞後の記念撮影では順番待ちの長い行列ができていました。



「新潟フェア」ブース（越谷イオンレイクタウン）

【NHK WORLD-JAPAN/jibtv
「CATCH JAPAN」】

「CATCH JAPAN」は食、技術、地域振興、環境など多様なテーマを切り口に、日本の魅力やさまざまな情報を世界の人々に発信し、今の日本、そして未来の日本の姿を知ってもらうマガジンスタイルの海外向け番組です。

様々な分野における最新プロジェクト、日本らしい取り組みなどの情報を取り上げているこの番組において、「佐渡島の金山」が放映されました。

地元で長年暮らす住民へのインタビューなど、7分という短い時間の中にも丁寧なつくり、見せ方で「佐渡島の金山」の魅力が引き出されています。ぜひご覧ください。



番組はコチラ



「南沢疎水道」を撮影するスタッフ

【「親子で歩く佐渡金銀山 (西三川砂金山編)」開催】

2023年7月23日(日)に、親子で歩く佐渡金銀山(西三川砂金山編)を開催しました。市内の小学生とその保護者の皆さま(計60名)にご参加いただきました。

地域で活動する「笹川の景観を守る会」のガイドが、笹川集落の歴史や魅力を紹介したほか、散策の後に川に入って、砂金採り体験を行いました。参加者からは、「川で、砂金採り体験を親子ですべてよかった。」「昔の人の暮らしが良く分かった。」と感想が寄せられました。



笹川集落散策の様子

【佐渡金銀山現地見学会 (西三川砂金山編・鶴子銀山編)開催】

2023年6月25日(日)、11月23日(木)、26日(日)の3日間、佐渡金銀山現地見学会を開催しました。西三川砂金山編では、「五社屋山」で当時の水路跡などを見学し、鶴子銀山編では、当時の採掘坑道である「弥喜知間歩」、「大滝間歩」を見学しました。

参加者からは、「手を入れ過ぎず、当時のままに残っている遺産群に感動。」「スケールの大きな現場などとても素晴らしい。」と感想が寄せられました。



鶴子銀山現地見学会の様子

ボランティア活動の紹介

2023年はイコモスの現地調査や、「世界遺産の島」・「美しい島」の実現に向けた環境美化活動を複数回にわたり実施しました。

6月3日の上相川地区周辺の清掃活動を皮切りに、西三川地区笹川集落内、鶴子地区大滝間歩周辺で活動を行ったほか、7・8月は環境美化強化期間として、市内外の企業・団体・市民の合計500名以上の皆さまに、環境美化活動へご協力いただきました。本当にありがとうございました。

7月20日～8月10日 佐渡金銀山ボランティア推進期間にご協力いただいた団体紹介

- 7月25日:「新潟県信用組合畑野支店」の皆さま
- 7月27日:「佐渡測量株」の皆さま、「渡辺産商株」の皆さま、
「株近藤組」の皆さま
- 7月28日:「さどやニッポン株」の皆さま
- 8月2日:「(一社)佐渡を世界遺産にする会」の皆さま
「ドンデン高原ロッジ自然リゾート」の皆さま
- 8月3日:「下新穂トキメキクラブ」の皆さま、「島長寿会」の皆さま
- 8月7日:「(特非)食と夕日の佐渡島」の皆さま



小木町の伝統的な町並みの保存と活用について

～小木町重要伝統的建造物群保存地区選定に向けての取組み～

小木港は、江戸時代の初めに金銀の積み出し港として整備され、西廻り航路の開設後はその寄港地として国内各地から数多くの物資や人びとが往来しました。「城山^{しろやま}」と呼ばれる小半島を中心に、「内の澗」と「外の澗」と呼ばれる二つの入り江に囲まれた天然の良港であったことが、港町「小木」を発展させました。佐渡第一の港町として栄え、「内の澗」に沿って円弧状に形成された土地には、当時の町割りや町並みがよく残っています。

小木町の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）選定に向けての取組みは、2007年には、新潟大学の調査が行われ、小木町には古い町割りや町家が良好に残っていることがわかりました。また、2018年に地域の方々が、「おぎ町並み保存推進委員会」を設立し、町並み保存とその活用に向けた活動が始まりました。

佐渡市では、伝統的な町並みの保存と活用のため2021～2022年度の2カ年をかけ、保存対策調査を実施し、文化財としての価値を明らかにしました。2023年度に佐渡市教育委員会で伝統的建造物群保存地区を決定し、国に重伝建選定の申出を行い、2024年度の重伝建地区選定を目指しています。



小木町の町並み

※伝統的建造物群保存地区とは、伝統的建造物である建築物や工作物と共に、これと景観上密接な関係にある樹木、水路、石垣等を含む歴史的なまとまりを持つ地区を、市町村が「伝統的建造物群保存地区」として決定し、保存を図ります。

また、特に価値が高いものを、市町村の申出にもとづき、文部科学大臣が「重要伝統的建造物群保存地区」として選定します。



上空から望む「内の澗」と「外の澗」

「金の道」 特集

2023年度「金の道」交流促進事業

「佐渡島の金山」の世界遺産登録を見据え、2023年度から「金の道」をキーワードに沿線地域との交流促進と新潟県内外への連携した情報発信を行うため、「金の道」交流促進事業を実施しています。

江戸時代、佐渡で産出した金銀は、人馬、船を使って、遠く江戸まで運ばれました。佐渡・相川から小木までは陸路、小木から越後・出雲崎までは佐渡奉行所の官船で海路、出雲崎から江戸・東京へは、信州追分までは北国街道、追分からは中山道を通して武蔵国板橋宿まで宿場を馬で中継して運ばれました。かつて、この金銀が運ばれた街道である「御金荷の道」は、当時の宿場町のなごりが各地域において継承され、今に伝えられています。

このたび、この事業の一環として、2023年9月23日(土・祝)の佐渡市(佐渡奉行所)でのスタートイベントを皮切りに、新潟県出雲崎町、群馬県安中市、東京都内の4つの地域で、「御金荷の道ウォーク」を開催しました。10月1日(日)には、金銀の荷揚げ港であった新潟県出雲崎町の北国街道約5キロを歩き、その後、旧中山道に舞台を移し、12月2日(土)には群馬県安中市で約12キロ、12月9日(土)には東京都板橋区から街道の起点である日本橋までの約11キロを踏破し、ゴールしました。参加者(4地域、延べ380名)は江戸時代の装束に身を包み、街道沿いの史跡などに立ち寄りながら、宿場町として栄えた往時の様子に思いをはせました。

また、2024年1月28日(日)には、「御金荷の道ウォーク」の総括として、「金の道」フォーラムを東京都内(東京交通会館)において開催しました。フォーラムでは、国際記念物遺跡会議(イコモス)の河野俊行名誉会長から「鉱山と世界遺産－佐渡との比較において－」と題して基調講演をいただき、その後、「『金の道』から広がる地域の輪」をテーマに「御金荷の道ウォーク」を実施した佐渡市、新潟県出雲崎町、群馬県安中市、東京都板橋区の各民間団体の代表が集結し、パネルディスカッションを行いました。約150名が参加し、「金の道」を核とした地域連携の今後のあり方を探りました。



「金の道」フォーラムの様子



「御金荷の道」PR動画はコチラ



9月23日 佐渡奉行所出発式



10月1日 新潟県出雲崎町



12月2日 群馬県安中市



12月9日 東京都内

「佐渡島の金山」を学んでみませんか

新潟県や佐渡市の担当職員等が学校や団体・集落に伺い、佐渡金銀山や世界遺産について分かりやすく解説します。「佐渡島の金山」について、一緒に学んでみませんか？世界遺産登録直前の今だからこそ、ぜひご利用ください！

【料金は無料です】

*お問い合わせ・お申し込み先

【佐渡市内での開催】佐渡市観光振興部世界遺産推進課

【佐渡市以外での開催】新潟県観光文化スポーツ部文化課



旧西三川小学校笹川分校での出前授業の様子

坑道内 音声ガイダンス の紹介

音声ガイダンス機能（日本語・英語対応） を整備しました

2023年4月に史跡佐渡金山にある宗太夫坑・道遊坑で音声ガイダンスを聞くことができるようになりました。坑道の中にあるQRコードを読み取るだけで、各解説ポイントの音声ガイドを聞くことができます。また、解説ポイントに関連する補足説明や絵図・絵巻等も表示されます。

今回日本語ナレーションは、声優の豊嶋真千子さんに務めていただきました。4月25日（火）には、報道機関向けのお披露目会を実施し、実際に、豊嶋さんと英語ナレーションを担当したブラック・ジャスミンさんによるデモンストレーションが行われました！

坑道内にはフリーWi-Fiも整備されています。ぜひ、この音声ガイドで、見学をお楽しみください。



音声ガイドはコチラ



豊嶋真千子さん（左）、ブラック・ジャスミンさん（右）



佐渡金銀山の保存・活用のためのご支援をお願いします！

佐渡市では、世界に誇る貴重な文化遺産である佐渡金銀山を守り、伝え、活かすために「世界遺産推進基金」を設けています。佐渡の宝を未来につなぐため、ご理解とご支援をお願いします。

◆世界遺産推進基金で次のような事業に取り組めます。

- 守り伝える ・佐渡金銀山遺跡を保護・保存する取組み、遺跡の周辺環境を守る取組み
- 価値を証明する ・鉱山絵巻など、価値を補完する資料の収集・各種調査・研究の支援

◆2024年度寄附者の紹介（2023年3月～2024年2月末）

(株)第一印刷所様、(有)兵庫工務店様、尾畑酒造(株)様、Lily様、サンフロンティア佐渡(株)様、鼓童様、マッテラート様、スマイルファーム様、ISLAND MIRRORGEプロジェクト様、(株)川内自動車ケイバッカ佐渡店様、(株)伊藤園様、キリンビール(株)新潟支社様、新潟県信用組合様、(株)ブルボン様、YAMATO様、新潟県・佐渡市職員有志一同様
佐渡市世界遺産ホームページで贈呈式の様子などを紹介しています！

◆ふるさと納税でも応援できます！*島外の皆さま限定

佐渡ふるさと島づくり寄付金（ふるさと納税）「佐渡金銀山の世界遺産登録応援コース」でも受け付けています。

新潟県・佐渡市



新潟県文化課HP



佐渡市世界遺産推進課HP

新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室

TEL:025-280-5726 E-mail:ngt150030@pref.niigata.lg.jp

佐渡市観光振興部世界遺産推進課

TEL:0259-63-5136 E-mail:k-goldmine@city.sado.niigata.jp

2024年3月31日発行